

＜目指すべき将来＞
いきいきと住み、働き、子育てできる「ふるさと氷見」の実現
 人口減少を和らげる 人口が減少しても幸せに暮らせる

第2期では、地方創生を実現するための戦略体系について、第1期の4つの基本目標を見直し、
「住みたい街」、「働きたい街」、「育てたい街」
 の3つの基本戦略に組み換え、「氷見元気プロジェクト」と統一し、
 施策の推進を図ります。

■総合戦略の位置づけ
 未来を切り拓いていくための根幹となる施策の方向性を共有し、オール氷見で地方創生の取り組みを推進していくための計画として策定します。

■基本的な考え方
 ・若者や女性がいきいきと活躍できる働き場や魅力を感じて暮らし続けることができる地域づくりを最重点に進めます。
 ・観光資源に磨きをかけ滞在型のインバウンド客を呼び込むことで観光産業の振興を図るとともに、観光をはじめ他産業との連携による農林水産業の成長産業化を重点的に進めます。
 ・中長期的に地方創生を支える人材の育成が不可欠となることから、次代を担う子どもたちのために、氷見をフィールドとして地域との関わりを生かした魅力的な教育機会を創出するとともに、ICT教育やプログラミング教育の充実など、将来自分の望む所で働くことができるよう必要なスキルを身につける機会を提供していきます。
 ・未来技術がもたらす将来の社会変化を見通し、AIや5Gなどの未来技術を先取りした実証実験等を積極的に取り入れるなど将来に希望の持てるシステムづくりにチャレンジしていきます。

■推進体制
 ○氷見市まち・ひと・しごと創生推進協議会
 ○氷見市まち・ひと・しごと創生推進本部

■PDCAサイクルの確立
 施策、事業の効果や進捗状況をKPI等で毎年検証し、見直しや改善を図ります。

■SDGsへの取り組み
 持続可能な開発目標（SDGs）が掲げる17の目標と第2期総合戦略に掲げる各施策の方向性は一致していることから第2期総合戦略を推進することでSDGsの達成を目指します。

基本戦略Ⅰ 住みたい街

重要目標達成指標（R6）
 【住み続けたいと思う市民の割合】 79.7%→85.0%
 【人口社会増減率】 Δ0.49%→Δ0.33%
 【若者の転出超過数】 Δ1,101人→Δ528人
 【健康寿命】 男性76.94歳→77.5歳 女性81.48歳→82.0歳

- 若者・女性のふるさと氷見での定着と還流（Uターン）**
 - 地方創生を支える人材・組織の育成
 - ・ぶり奨学プログラムの継続
 - ・小中学生の起業家教育など探究型教育の推進
 - ・地域づくりやコミュニティ活動に取り組む各種団体の育成
 - ふるさと氷見への郷土愛の育成
 - ・幼児期から高校生までのふるさと教育の推進
 - ・親子で郷土愛を育むイベントの開催
- 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（I/Uターン）と多様な交流の実現**
 - 氷見暮らしの魅力や充実した子育て・教育・福祉等の情報発信
 - ・暮らしやすさなどの氷見の魅力の大都市圏への情報発信の強化
 - 多様な関係人口の創出・拡大
 - ・企業・大学等との連携の強化
 - ・氷見ときとファンクラブ（仮称）の開設
 - ・ふるさとワーキングホリデーの推進
 - ・ふるさと納税の取組強化、企業版ふるさと納税の導入
 - 国際交流の推進
 - ・海外との友好都市交流
- 安全で安心して暮らせる基盤の充実**
 - 災害に強い社会の実現
 - ・災害情報の的確な把握、住民へ避難情報等を迅速かつ正確に届けるシステムの構築
 - ・国土強靱化の推進
 - 地域医療の充実
 - ・医学生及び看護師に対する就学資金の貸与
 - ・消防広域化、出張所整備
- 持続可能な地域社会の体制・仕組みの確立**
 - 小規模多機能自治の基盤整備と地域内分権の推進
 - ・地域づくり協議会の設立支援と活動拠点の整備
 - 多様性を認め合える社会づくり
 - ・障がい者、高齢者等が共生するまちづくり
- いきいきと暮らし続けるための健康的自立**
 - 市民の健康意識の醸成
 - ・生活習慣病等の健診受診の推進、未病対策の推進
 - 運動習慣の定着による健康増進プログラムの推進
 - ・氷見ときと健康ポイントの普及促進

基本戦略Ⅱ 働きたい街

重要目標達成指標（R6）
 【納税義務者1人当たり所得】 260万円→270万円
 【雇用保険適用事業所の被保険者数】 8,833人→9,000人
 【新規求人数】 4,922人→5,000人（フルタイムのみ2,577人→2,600人）
 【観光消費額】 168億円→186億円

- 氷見市内での経済活動の規模拡大**
 - 地域内消費の促進
 - ・地域内商品券の販売促進
 - ・エネルギーの地産地消の推進
 - まちなかの賑わいの創出
 - ・エリアマネジメントによるまちなかの賑わいの創出
 - ・チャレンジショップスペース（複合店舗）の整備
- 氷見ならではの魅力・強みを生かした観光振興**
 - 地域資源を生かした滞在型観光の推進
 - ・農泊・体験型観光の推進
 - ・まんがを生かした観光客の誘致と滞在時間の延伸
 - ・世界農業遺産への登録
 - ・新交通システムの導入
 - インバウンドの誘致
 - ・インバウンド受け入れ環境の整備
 - ・海外へのプロモーションの実施
 - ・キャッシュレス決済の促進
- 氷見の海・里・山の幸の魅力や、特性を生かした産業振興**
 - 新たな食の氷見ブランドの確立
 - ・新たな食のブランド（農業生産物、加工品）の開発支援
 - ・地域の特色ある農業の6次産業化の促進
 - ・産学官連携による新産業の創出
 - 既存のブランドの販路拡大
 - ・既存のブランドの維持・販路拡大のための生産規模の拡大支援
 - ・学校給食等での氷見産食材の活用促進
 - ・森林資源の活用（市産材の生産量拡大、販路開拓）
- 産業人材の育成・確保**
 - 農林水産業・商工業の担い手の育成・確保
 - ・若者の第一次産業への就業支援
 - ・創業にチャレンジできる機会の提供
 - ・スマート化による省力化・生産性向上の支援
 - ・リカレント教育の推進
 - ・特定地域づくり事業協同組合の活用
 - 働きがいを感じることができる魅力的なしごとの創出
 - ・女性が働きやすい労働環境の整備の支援
 - ・働き方改革の推進（企業への働きかけ）
 - ・障がい者の活躍機会の増加
 - ・外国人受け入れ企業への支援
- 企業誘致の推進**
 - 地元雇用に結びつく優良企業や研究機関等の誘致
 - ・企業誘致活動の強化
 - ・サテライトオフィスの整備と活用の促進
 - ・能越自動車道IC周辺の利活用の促進

基本戦略Ⅲ 育てたい街

重要目標達成指標（R6）
 【婚姻数】 141件→150件
 【出生数】 189人→230人
 【子ども女性比】 0.165→0.202

- 結婚の希望をかなえ、子どもを中心として多様な家族が幸せを実感できる生活の実現**
 - 人生設計を考える機会の増加
 - ・将来のプランを早期に考える機会の提供（中学生・高校生対象）
 - ・結婚についての意識啓発の取組の強化
 - 出会いの場の創出、地域の応援・支援による婚姻率の向上
 - ・婚活イベント等による出会いの場の創出
 - ・縁結びおせっかいさん事業の推進
- 多様な家族に対するきめ細やかな支援、子どもの健やかな成長を育む保育の充実**
 - 安心して出産できる環境の整備
 - ・産科医の確保
 - 妊娠・出産に関する経済的・精神的負担の軽減
 - ・不妊相談の実施、不妊治療の助成拡大
 - ・子ども・妊産婦医療費の助成
 - 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進
 - ・子育て世代包括支援センターをワンストップ窓口とする支援体制の充実
 - ・市と関係機関との連携強化
 - ・小児科医の確保
- 次代を担う子どもを育む学校教育の実現**
 - 教育に関わる経済的負担の軽減
 - ・奨学金貸与の実施
 - ・経済的な不安を抱える家庭への支援
 - 子どもの生きる力を育成する学校教育の充実
 - ・カウンセラー等による心のケア支援の充実
 - ・ICT環境の整備とICT教育の推進
 - ・地域との関わりを生かした教育機会の創出
- 仕事と家庭を両立しながら、子育てを楽しむと感じられる社会の実現**
 - 子育てと両立するワーク・ライフ・バランスの推進
 - ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の強化
 - 職場と子育て支援施設の連携
 - ・延長保育、休日保育の実施
 - ・父親の家事・育児参加の促進
 - 子どもが安心して遊び・学ぶことができる環境の整備
 - ・放課後子ども総合プランの推進
 - ・子どもが安心して遊び・学べる場の整備
 - ・通学時の安全確保対策の推進